

2019年7月16日

報道各位

ラサール不動産投資顧問株式会社

神戸市で物流施設開発用地を取得

ラサール インベストメント マネージメント インク（本社：米国イリノイ州シカゴ、最高経営責任者：ジェフ・ジェイコブソン、以下ラサール）は、同社が組成した特定目的会社を通じ、兵庫県神戸市西区において6月27日に物流施設の開発用地を取得いたしましたのでお知らせいたします。

今回取得した土地は 23,862 m²で、リーシング活動を行いながら、今後はテナント企業が求めるニーズを的確に捉えた上でさらに機能性・汎用性をも兼ね備え、複数テナントにも対応可能な物流センターを建設する予定です。物流センターの延床面積は、約 33,000 m²～47,000 m²程度を想定しており、竣工は2021年9月頃の予定です。

計画地は、兵庫県神戸市西区の「神戸複合産業団地（神戸テクノ・ロジスティックパーク）」内に位置しております。同団地は、関西内陸地における昨今の旺盛な物流需要により、ここ数年で急速に発展しているエリアです。

神戸淡路鳴門自動車道・山陽自動車道「神戸西インターチェンジ」至近（約 1.0 km）に位置し、内陸にありながら神戸港・三宮から 30 分、大阪中心部へ 1 時間と、関西圏へのアクセスが良好な立地です。また、京都方面へは山陽自動車道から 2018 年に開通した新名神高速道路（神戸ジャンクション～高槻ジャンクション間）ルートと、従来の中国自動車道・名神高速道路ルートの 2 ルートから選べるようになり、高速道路網に恵まれ広く西日本をカバーできる広域物流にも適していることから、医療品関連、自動車関連、小売業、食品等の企業の工場や倉庫が集積しています。

上記のように周辺は工場・倉庫の多い産業団地内に立地していることから、24 時間 365 日のオペレーションが可能です。また、強固な地盤を有し、大地震・津波リスクを軽減することから BCP（事業継続計画）に優れており、物流業務に適した立地となります。

ラサールの日本法人である、ラサール不動産投資顧問 執行役員の永井まりは「本物件は、関西圏及び西日本全域へのアクセスの優位性と、関西内陸で強固な地盤を有する BCP 対策の優位性を活かし、物流効率化に大きく貢献し得る高機能な立地です。各企業による物流効率化の過程で、交通利便性に優れたエリアに立地する近代的な物流施設へのニーズが高まっており、増加する物流需要を不動産の面から支えることは、マーケットの発展に寄与すると考えています。ラサール不動産投資顧問は、今後も各企業の戦略的物流拠点となる適地を見定め、テナント企業活動のニーズに柔軟に応える物流施設開発を積極的に進めて参ります」と述べています。

企業の進出が相次ぐ神戸テクノ・ロジスティックパーク
（地域中心部に位置、塗りつぶし部分が取得地）



航空写真：神戸市提供

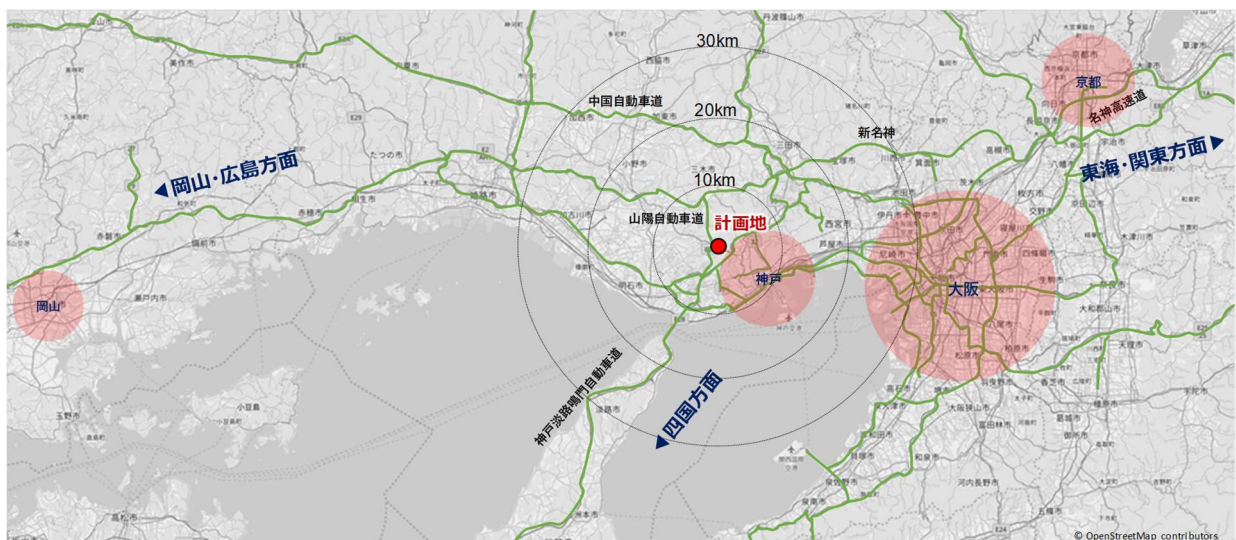
【物件概要】

所在地： 兵庫県神戸市西区見津が丘5丁目
 敷地面積： 23,862.75 m² (7,218.48 坪)
 所有者： 神戸西プロパティ-特定目的会社
 用途： 物流施設
 取得日： 2019年6月27日
 竣工： 2021年9月頃(予定)

【周辺地図】



【広域地図】



リーシング・物件に関するお問い合わせ先

ラサール不動産投資顧問 物流投資営業部 岩本・奥和田
電話：03-6880-2820 メール：Logi.Jp@lasalle.com

本件に関するお問い合わせ先

広報担当（エイレックス） 村瀬亜以
電話：03-3560-1289 メール：lasalle@arex-corp.com

ラサール インベストメント マネージメントについて

ラサール インベストメント マネージメントは、世界有数の不動産投資顧問会社です。世界規模で、私募、公募の不動産投資活動、負債性投資をしており、総運用資産残高は約 643 億米ドルです（2018 年 12 月末現在）。主要顧客は、世界の公的年金基金、企業年金基金、保険会社、政府関連、企業、その他基金（大学基金他）などで、世界中の機関や個人投資家の資金管理を行い、セパレートアカウント型投資、オープンエンド型ファンド、クローズドエンド型ファンド、公募証券、エンティティレベル投資等の手法で投資を行っています。また、世界最大級の総合不動産サービス企業であるジョーンズ ラング ラサール グループ（ニューヨーク証券取引所上場：JLL）傘下にあります。なお、ラサール不動産投資顧問株式会社は、ラサール インベストメント マネージメントの日本法人です。詳しい情報は、<http://www.lasalle.com> をご覧ください。